

原子力平和利用と核不拡散・核セキュリティに係る国際フォーラムについて 企画案

日本原子力研究開発機構
核不拡散・核セキュリティ総合支援センター

1. 概要

原子力平和利用の推進に不可欠な核不拡散・核セキュリティに関する理解の増進を目的として、毎年、国際フォーラムを開催（事前申込制）している。本フォーラムでは、各国の政府関係者や核不拡散・核セキュリティの専門家による、時々の今日的な課題に焦点を当てた講演やパネルディスカッションを通じて、原子力平和利用と核不拡散・核セキュリティに係る種々の課題や方策について国内外の理解を深めるとともに、我が国及び原子力機構の核不拡散・核セキュリティへの取組を発信している。

2. 今年度のフォーラムの概要

(1) 今年度のフォーラムのテーマ

今年度は以下の2つのテーマについて議論を行う。

① 核セキュリティの現状と課題・今後の方向性

核物質や放射性物質を使ったテロ対策として、原子力施設の核物質防護や病院等のRI使用施設での、いわゆる1st Line Defense対策が取られてきている。また、水際における2nd Line Defenseや大規模なイベント時の核セキュリティ対策についても対応が進められている。これら核セキュリティ確保に向けた対応の現状と課題、将来の方向性について議論を行う。

② 次世代炉・先進燃料サイクル開発と核不拡散・核セキュリティ

上記①の課題の一つでもあり、国際的に活発な議論が行われている、新型炉、小型モジュール炉やその燃料サイクルについて、核不拡散及び核セキュリティに関する制度的、技術的課題について議論を行う。また、核不拡散・核セキュリティ体制のSustainabilityを確保する上で重要な人材の確保、若手研究者の育成について議論する。

(2) 開催日時

2019年12月4日（水） 10:00～17:30

(3) 開催場所

時事通信ビル 2F 時事通信ホール（東京都中央区銀座5-15-8）

(4) ご協力頂く機関（予定）

公益財団法人日本国際問題研究所

国立大学法人東京大学大学院工学系研究科原子力 国際専攻

国立大学法人東京工業大学科学技術創成研究院 先導原子力研究所

(5) 主なプログラム

開会挨拶（10：00～10：10）

児玉敏雄 日本原子力研究開発機構 理事長

基調講演（2件 10：10～10：50、10：50～11：30、以下の候補から選定）

- ① 核セキュリティの現状と課題、将来の方向性（仮題）：米国または欧州より専門家を招へい
- ② 次世代炉・先進燃料サイクル開発と核不拡散・核セキュリティ（仮題）：IAEAより招へい

基調報告

ISCNの活動報告（11：30～12：00）直井 洋介 JAEA・ISCN センター長

パネルディスカッション 1：核セキュリティの現状と課題・今後の方向性について（13：00～15：00）（パネリスト候補：IAEA、WINS、DHS、科警研、JAEA等）

- ✓ 原子力施設の効果的な核物質防護に向けた費用対効果評価の海外における事例
- ✓ 核セキュリティ強化に向けた新たな技術（大規模イベントのセキュリティ、ドローン対策、サイバーセキュリティ）
- ✓ 核セキュリティに対する認識の向上策、特にRIセキュリティに焦点
- ✓ 核セキュリティ対策の持続性をどう確保していくか（人材確保と育成）

休憩（15：00～15：25）

パネルディスカッション 2：次世代炉・先進燃料サイクル開発と核不拡散・核セキュリティ（15：25～17：25）（パネリスト候補：MEXT、IAEA、DOE、大学関係者（TAMU、日本の大学）、JAEA等）

- ✓ 次世代炉・先進燃料サイクル開発の現状と課題
- ✓ 次世代炉・先進燃料サイクルの核不拡散・核セキュリティに関連する取り組み
- ✓ 若手研究者の育成の取り組みの良好事例
- ✓ 若手研究者の育成、大学の役割、COEと大学の連携のあり方

閉会挨拶（17：25～17：30）

青砥 紀身 日本原子力研究開発機構 理事